

小中一貫教育目標

ふるさとを愛し、世界に学び、未来を切りひらく児童生徒の育成
 — かしこく（学力向上）・やさしく（思いやり）・たくましく（自立） —

確かな学力の育成

- 授業研修会（分かる授業の推進）
- 乗り入れ授業（高度な授業）
- 教科担任制（高学年）
- 出前ものづくり（理数教育の推進）
- 家庭学習の推進
（家庭学習の手引き・マイスタ・自主学习）

豊かな心の育成

- 規範意識の向上（生活・校則・ルールの遵守）
- 一日体験入学（授業体験・部活動体験・生活体験）
- 道徳授業の新たな展開（教科化）
- 道徳的実践力の強化
- 小中合同人権フィナーレ
- 心の通い合う生徒指導

たくましい身体の育成

- 食育の推進
（ひまわりカード・ハートフル弁当・交流ランチ）
- 小・中学校交流マラソン大会
- 体育授業展開の工夫
- 計画的な安全教育
- 日常的な体力づくり

☆学力・指導力向上☆

- 9年間を見通した授業
- 小中教職員による合同研究推進
- 一貫した系統的な学習指導
- おの検定の活用（基礎学力の定着）
- 理数・外国語教育の推進

☆一貫した生徒指導体制の構築☆

- 小中の滑らかな接続（個性尊重引き継ぎ）
- 心の通い合う生徒指導の充実
- 自尊感情の育成
- キャリア・道徳教育の推進
- 児童・生徒理解の共通認識

令和4年度重点目標
 『外国語教育』『キャリア教育』の推進

	第Ⅰ期（4年） 1年生～4年生	第Ⅱ期（3年） 5年生～7年生	第Ⅲ期（2年） 8年生～9年生
学び	反復・定着による「できた」「わかった」などの達成感や「知りたい気持ち」「わくわく感」重視。	具体的な思考から抽象的な思考へ。「知りたい気持ち」から主体的な問題学習へ。	目標意識（将来へ夢や目標を強く意識）や知的好奇心（学ぶこと自体を楽しむ）を重視。
キャリア発達	自分の思い、考えを伝えることができる。自分や友だちのよさをとらえ、協力できる。係や当番活動でみんなのために取り組む。日常生活や学習と将来の生き方とつなぐ。自分で課題解決しようとするすることができる。	話し合い等で、多様な考えを理解できる。異年齢集団で役割と責任を果たす。学びや体験を生活や職業と関連づける。将来を考える大切さを感じる。将来の夢や希望の実現へ努力しようとする。	自他のよさ・感情を理解し、尊重する。チームを組んで支え合いながら仕事をする。進路・職業の情報を多面的に集め検討する。自己を生かす将来を現実的に考える。将来設計実現へ課題解決に取り組む。

